

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	簡易水道事業(管理費)						
所管課	501	水道局総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算				
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。給水人口12,292人(平成27年12月末)の加入者に安心・安全・安定した飲料水の供給を目指して水道施設の管理運営を行っている。				区分 No.	区分名			
					款	1	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	1	総務管理費		
細目	1	総務管理費							
根拠条例等	「宇陀市簡易水道事業等に関する条例」「宇陀市簡易水道事業給水条例」								
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備								
H28年度事業の概要	①賃金 2,340千円 ②需用費 52,924千円 ③役員費 13,993千円 ④委託料 23,328千円 ⑤使用料 7,256千円 ⑥原材料費 112,864千円 ⑦負担金 109,581千円 ⑧積立金 15,961千円 ⑨公課費 16,945千円 ⑩その他の費用(報酬、旅費、償還金等) 106千円				財源の内訳 (単位:千円)				
	管理費の削減を目指して予算編成を行い、浄水施設・機械等の修繕費及び委託費は増加となったが全体管理費としては対前年度18,867千円減となった。 今後とも安心・安全・安定した飲料水を供給するとともに経費削減を図り、使用料金の徴収率を上げ、一般会計からの繰入金金の減少につなげるように努める。				分担金	5,643			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料				
					国費				
					県費	15,903			
					市債	1,900			
					その他	23,105			
					一般財源	308,747			
					H28予算額	355,298			
					H27当初予算額	374,165			
				H27現計予算額	374,165				
				増減額	▲ 18,867				
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		305,335	374,165		給水分担金 3,613千円				
従事職員数【人工】		/		工事負担金 2,030千円					
人件費(人工×8,000千円)				簡水債 1,900千円					
総事業費:人件費含む(千円)		305,335	374,165		県費補助金 15,903千円				
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						施設基金繰入金 23,047千円			
活動指標名		年間総排水量				財産収入(利子) 58千円			
活動指標の算式		—				備考			
活動指標の実績(見込)		1,356,687	単位	m ³	1,365,000			単位	m ³
単位当たりコスト (円)		225		274					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	松井簡易水道事業					
所管課	502	水道局工務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	松井地区は、井戸及び取水を生活用水として使用し、渇水期には枯渇する井戸もあり、安定した水量が得られず生活に影響を及ぼしている状況にある。 本事業を実施することにより安定した水量、安全な水を確保することができ、生活基盤の改善が図れる。				区分	No.	区分名	
					款	1	総務費	
					項	2	施設整備費	
					目	1	施設整備費	
細目	10	施設整備費						
根拠条例等	水道法第15条							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H28年度事業の概要	[菟田野宇賀志地区] ・給配水管工事 φ75 L=470m、φ40 L=230m、φ25 L=38m 消火栓 2基、給水戸数 7戸				財源の内訳 (単位:千円)			
	[大宇陀上片岡地区] ・給配水管工事 φ100 L=331m、φ75 L=2,172m、φ40・25 L=415m 消火栓 7基、給水戸数 14戸				分担金	10,920		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	給水区域を拡張することにより生活環境の改善、公衆衛生の向上と併せて、安全で安心して飲める水を安定して供給できる。また、消火栓の設置により防災面での拡充がなされる。				使用料			
					国費	32,800		
					県費			
					市債	49,200		
					その他	380		
					一般財源			
					H28予算額	93,300		
H27当初予算額	65,200							
H27現計予算額	65,200							
増減額	28,100							
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)			46,492	49,110				
従事職員数【人工】			0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)			1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)			48,092	50,710				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名			進捗率					
活動指標の算式			実施事業費累計/総事業費(2,827,374千円)					
活動指標の実績(見込)			86.7	単位	%	88.4	単位	%
単位当たりコスト (円)			554,779		573,488			
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2)水道給水区域の適正化					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	室生中央簡易水道事業																								
所管課	502	水道局工務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算																								
事業の目的	平成26年度に奈良県水道局より室生大野・三本松へ県営水道が送られ、内山浄水場の老朽化に伴う大規模改修に多大な経費を費やす必要がなくなった等により、古大野飲料水供給施設の統合整備を行い、水質の改善と安定供給を行う。			区分	No.	区分名																					
				款	1	総務費																					
				項	2	施設整備費																					
				目	1	施設整備費																					
細目	10	施設整備費																									
根拠条例等	水道法第15条																										
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備																										
H28年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 配水池施設・送配水管工事 <ul style="list-style-type: none"> 配水池施設 増改築 30m3×2池=60m3 送水管布設 φ100 L=200m 配水管布設替 φ100 L=200m 仮設給配水管設備撤去 L=1,200m 給配水管工事实設計業務 <ul style="list-style-type: none"> 測量調査業務 A=4,000㎡ 設計業務 L= 300m 			財源の内訳 (単位:千円)																							
	古大野飲料水供給施設を室生中央簡易水道区域として統合することにより、安全・安心な水を安定的に供給できる。			<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>30,150</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>90,400</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5,050</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>H28予算額</td><td>125,600</td></tr> <tr><td>H27当初予算額</td><td>110,000</td></tr> <tr><td>H27現計予算額</td><td>110,000</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>15,600</td></tr> </table>			分担金		使用料		国費	30,150	県費		市債	90,400	その他	5,050	一般財源		H28予算額	125,600	H27当初予算額	110,000	H27現計予算額	110,000	増減額
分担金																											
使用料																											
国費	30,150																										
県費																											
市債	90,400																										
その他	5,050																										
一般財源																											
H28予算額	125,600																										
H27当初予算額	110,000																										
H27現計予算額	110,000																										
増減額	15,600																										
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)																											
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																							
決算額又は決算見込額(千円)	19,581	81,244		国庫補助金 30,150千円 過疎債 45,200千円 簡水債 45,200千円 基金繰入金 5,050千円																							
従事職員数【人工】	0.20	0.20																									
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600																									
総事業費:人件費含む(千円)	21,181	82,844																									
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																											
活動指標名	進捗率																										
活動指標の算式	実施事業費累計/総事業費(637,263千円)																										
活動指標の実績(見込)	59.8	単位	%	71.5	単位 %																						
単位当たりコスト (円)	354,198		1,159,120																								
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2)水道給水区域の適正化																										

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	田原簡易水道事業				
所管課	502	水道局工務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	田原地区は、井戸及び取水を生活用水として使用し、渇水期には枯渇する井戸もあり、安定した水量が得られず生活に影響を及ぼしている状況にある。 本事業を実施することにより安定した水量、安全な水を確保することができ、生活基盤の改善が図れる。				区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	2	施設整備費
					目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費					
根拠条例等	水道法第15条						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H28年度事業の概要	[大宇陀守道地内] ・ 給配水管工事 φ100 L=260m(県道部) 、L=640m(市道部) φ75 L=910m、φ30 L=275m 消火栓 4基、給水戸数 8戸 ・ 舗装復旧工事 A=1,044㎡ ・ 給配水管工事実施設計業務委託 測量調査業務 A=64,000㎡ 設計業務 L=16,000m				財源の内訳 (単位:千円)		
	水道未普及地域解消事業により生活環境の改善、公衆衛生の向上が図られ、また、水道施設整備によって防災面の拡充もなされる。				分担金	4,160	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費	33,600	
					県費		
					市債	50,400	
					その他	40	
					一般財源		
					H28予算額	88,200	
					H27 当初予算額	51,000	
				H27 現計予算額	51,000		
				増減額	37,200		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		43,865	46,000		国庫補助金 33,600千円 簡水債 50,400千円 負担金 4,160千円 基金繰入額 40千円		
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		45,465	47,600				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		実施事業費累計/総事業費(1,023,675千円)					
活動指標の実績(見込)		64.0	単位	%	68.4	単位 %	
単位当たりコスト(円)		710,490		696,062		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (2)水道給水区域の適正化	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	公債費(元金・利子)				
所管課	501	水道局総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	水道法に基づき宇陀市においても水道事業を実施、未普及地域解消及び施設充実のために起こした起債の償還を行っている。				区分	No.	区分名
					款	2	公債費
					項	1	公債費
					目		
細目							
根拠条例等	「宇陀市簡易水道事業等に関する条例」「宇陀市簡易水道事業給水条例」						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H28年度事業の概要	【元金】 長期起債償還金(簡易水道事業分) 205,616,565円 長期起債償還金(飲料水供給事業分) 118,471円 【利子】 簡易水道事業分(既借入分) 52,662,599円 簡易水道事業分(新規借入分) 1,559,818円 飲料水供給事業分 1,335円 一時借入金分 1,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業費の圧縮、起債残高の減少により27年度予算より6,578千円の減額の見込み。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	259,961	
					H28予算額	259,961	
					H27当初予算額	266,539	
				H27現計予算額	266,539		
				増減額	▲ 6,578		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		270,761	266,539				
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		271,561	267,339				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		給水人口					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績(見込)		12,546	単位	人	12,330	単位	人
単位当たりコスト(円)		21,645		21,682		備考	